

知られざるアスクの製品情報

# チ・アスク

Vol.13

無料  
¥0

この冬  
どのグラフィックスボード買う？



グラフィックスボード選びは、  
総合性能と消費電力で！

ASK  
Corporation

# 冬のグラフィックスボード選び

主なグラフィックスボードを「3D Mark」の Fire Strike にてベンチマークスコアをグラフにした。このグラフは、グラフィックスボード性能の一つの目安として活用してもらいたい。

GeForce グラフィックスボードでは、第2世代 Maxwell アーキテクチャ採用の GTX 980 と GTX 970 がスコアが良好である。

Radeon グラフィックスボードでは、R9 280X や R9 285 が GTX 770 と GTX760 の間に位置し価格を考えると優秀である。

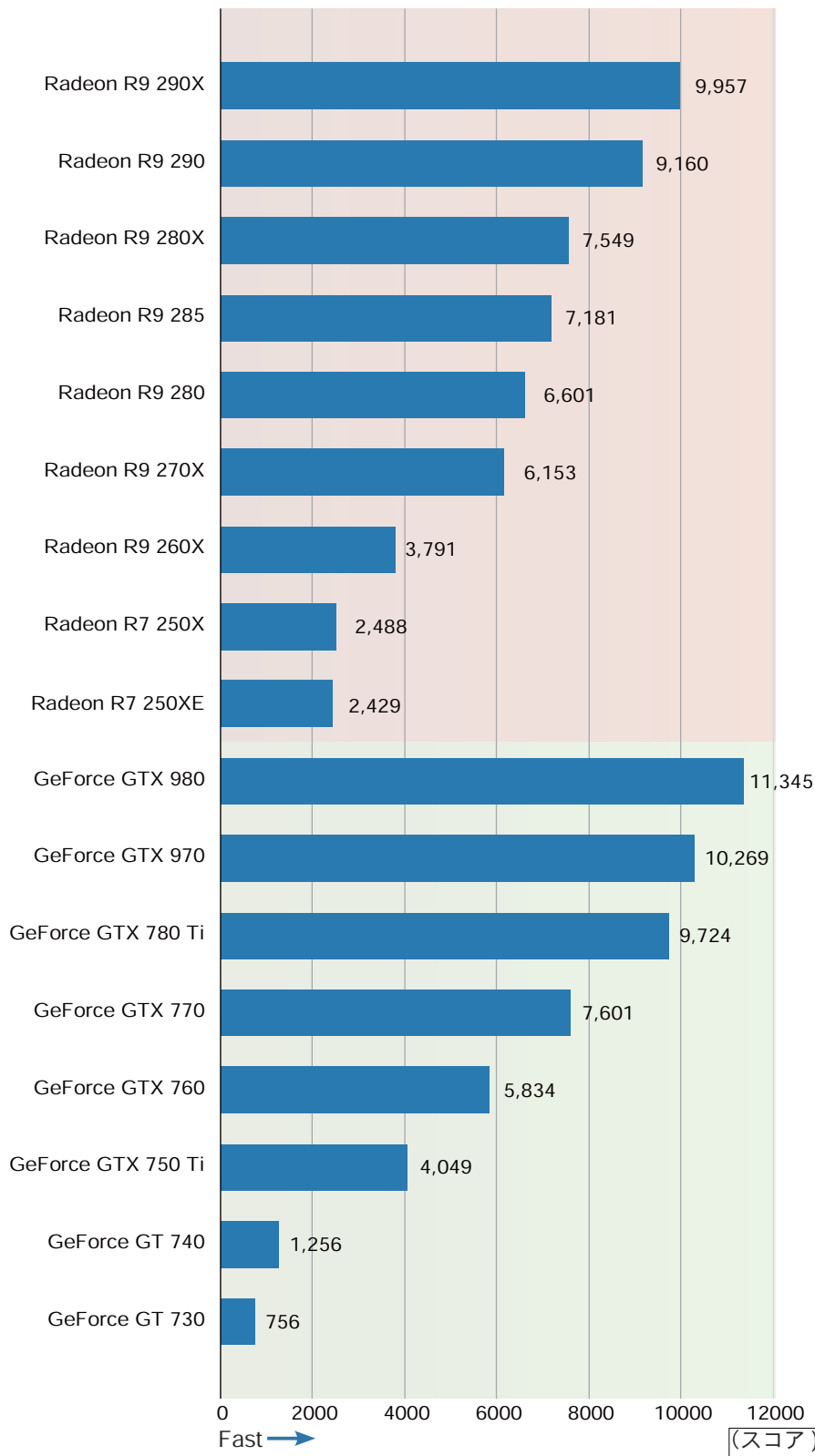
## ベンチマークスコアから見えないグラフィックスボードの性能

GTX 980 と GTX 970 は、ベンチマークスコアも後述の消費電力でも優秀で今後の GeForce グラフィックスボードの方向性が見えてくるようである。

Radeon グラフィックスボードは、Blu-ray ディスクの 24 フレーム再生を滑らかにする「AMD FLUID MOTION VIDEO」機能が R9 290X、R9 290、R9 285、R9 260X、R9 260 に搭載され 24 フレームのアニメなどの Blu-ray 再生を 60Hz のモニターやテレビで鑑賞する際に威力を発揮する。

また、各グラフィックスボードメーカーは、独自の FAN や冷却機構に独自技術を取り入れている。それにより FAN ノイズや排熱方法の違いがあり、グラフィックスボード購入時には充分情報収集をしておくとうまいだろう。

3D Mark Fire Strike スコア



## MSI オリジナルクーラー Twin Frozr V



MSI オリジナルクーラー「Twin Frozr V」は、2つのFANが独立して動作し、GPUまたはVRMが実際に必要とする分だけFANを回転させ冷却をおこなう。最高で1.9dBの騒音低減を実現する。

3D Mark Fire Strike は、DirectX 11 の機能をで負荷をかけ、ゲーミングを視野に入れたパソコン性能をスコアとして示すベンチマークソフト 今回のテストでは、解像度を 1920 × 1080 ドットに設定

テスト環境 CPU : Intel Core i7-4770K / M/B : MSI Z87A-GD65 GAMING / メモリ : CK4GX2-D3U1333 (DDR3 1333MHz 4GB x2) / SSD : VTX4-25SAT3-128G / OS : Windows8.1 64bit

※ベンチマークスコアは、環境により変わります。ベンチマークスコアを保証するものではありません。

## 消費電力に対するパフォーマンスでグラフィックスボードを見極める

グラフィックスボードを選ぶ際に、消費電力も気になる場所である。少ない電力で高いパフォーマンスを出せて優れたグラフィックスボードと言えるのである。3DMark FireStrike 時のパソコンの最大消費電力とアイドル時の消費電力をグラフにした。

GTX 980 と GTX 970 の消費電力の低さが目を引いてしまう。GTX 780 Ti の Kepler アーキテクチャでは、消費電力あたりの性能は向上していたがさらに Maxwell アーキテクチャで向上したことがわかる。GTX 970 と GTX 780 Ti 並べてしまうと顕著に見て取れる。

Radeon グラフィックスボードでは、目立って消費電力が低い製品はないが、逆に極端に高い製品もない。R9 280 と GTX 760 を比べれば R9 280 の方が消費電力に対するパフォーマンスは、優秀である。

消費電力からみるとハイエンドは NVIDIA、ミドルレンジは Radeon が良好の傾向が見られる。

### ワットチェッカーは、必需品



消費電力を調べるのに、とても便利。パソコン使用時に、どんなときに消費電力が大きくなるかを把握できる。自作パソコンでパーツを変えたときの消費電力の変化を楽しむことができる。

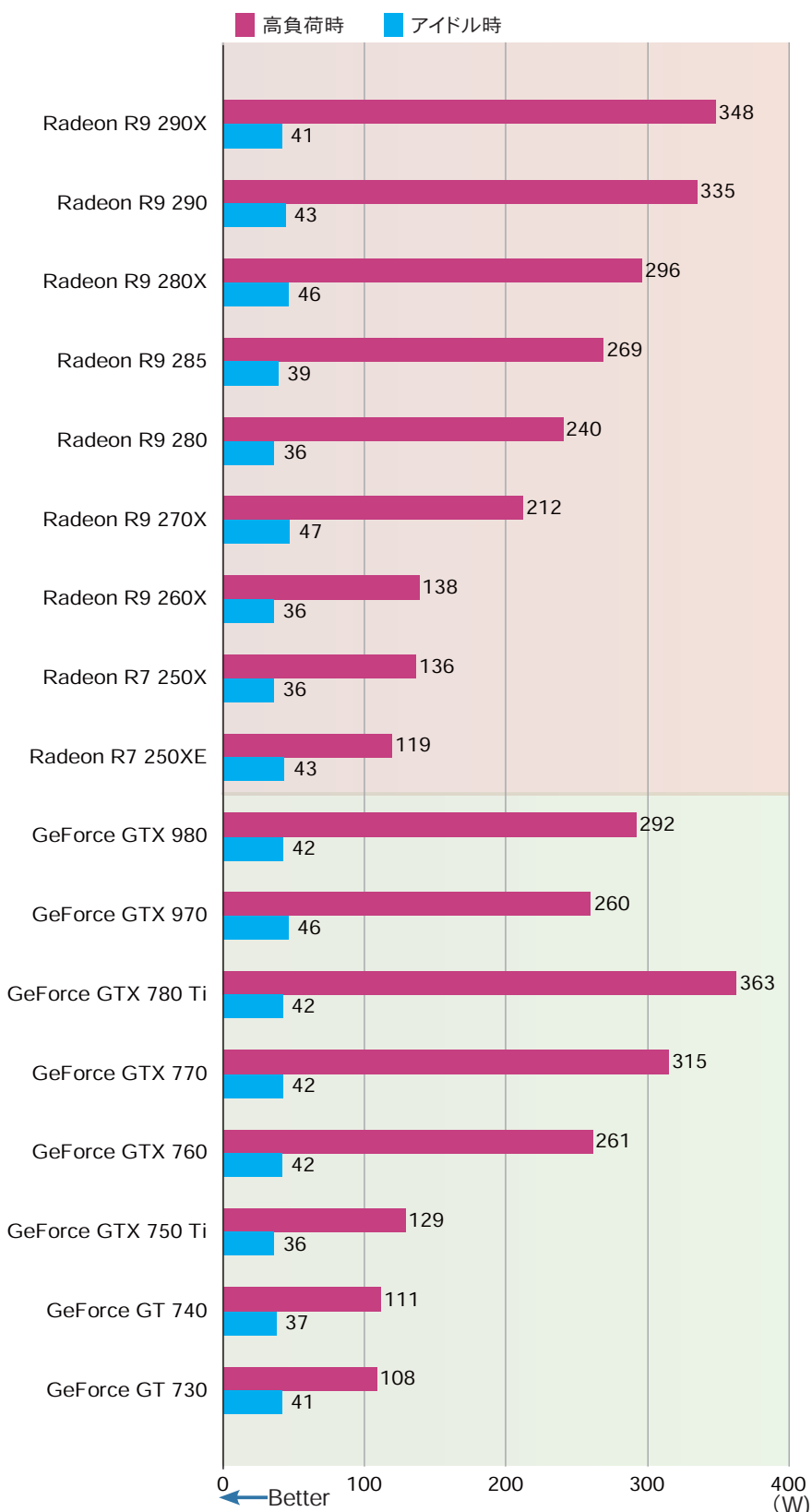
## ポイント

グラフィックスボード選びは、ベンチマークのスコアだけでは情報不足。価格、パフォーマンス、消費電力で選ぶべきである。悩んでいるときは、ゲームバンドルキャンペーンなどをお得なときに購入するのも一つの手である。

また、グラフィックスボードの Fan ノイズなど独自技術を取り入れている製品がある。そういった製品の長所を Web サイトなどで理解を深めることで自分に合った製品が見つかるはずだ。

グラフィックスボードの価格は変動する。価格を考えればパフォーマンスが良いことにもなるので欲しい商品の価格はまめにチェックしよう。

## 3D Mark Fire Strike 実行中のシステム全体の消費電力



# 冬のオススメ のグラフィックボード

ハイエンド

ZOTAC®

GeForce GTX 980 AMP Extreme Edition



新設計のオリジナルクーラー「IceStorm」を搭載し、多くの機能を備えたオーバークロックモデル



ハイエンド

msi®

GTX 970 GAMING 4G



冷却と静音性を高めた大型ヒートシンクとツイインファンのMSIのオリジナルクーラー「Twin Frozr V」を採用



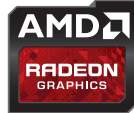
ミドルレンジ

SAPPHIRE

R9 285 2G GDDR5 PCI-E  
HDMI/DVI-I/DUAL MINI DP ITX COMPACT OC



長寿命 2 ボールベアリング、銅製ヒートパイプを採用し、ボード全長が約 171mm の小型 PC 自作に最適なコンパクトモデル



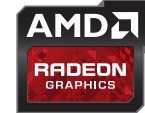
ミドルレンジ

msi®

R9 270X Twin Frozr 4S OC



MSI オリジナルクーラー「Twin Frozr 4S」採用 2 GB 搭載したオーバークロックモデル



ミドルレンジ

ELSA

GEFORCE GTX 750 Ti 2GB S.A.C



ELSA オリジナルクーラー「S.A.C (Silent Air Cooling)」を小型し、さらに基板をコンパクトにしたことでポート長 145mm を実現



ミドルレンジ

ZOTAC®

GeForce GTX 750 1GB ZONE Edition



大型ヒートシンクとヒートパイプにて、ZOTAC が得意とする騒音のない FAN レス設計モデル



エントリー

SAPPHIRE

R7 250XE 1G GDDR5  
PCI-E MICRO HDMI / DVI-I / MINI DP



日本限定 GPU「Radeon R7 250XE」を搭載し、Mini Display Port にて 4 K モニタに対応



エントリー

ELSA

GeForce GT 730 LP 1GB



DVI-I、DVI-D、MiniHDMI の 3 系統の出力ポートを搭載し 3 画面同時出力が可能なロープロモデル

